

今月の納税

作業停電(11月)

- ▶ 8日(金)午後1時～4時=南谷内全域
 - ▶ 28日(木)午前9時～正午=和納5区・6区の一部と10区の大部分の地域
 - ▶ 12月5日(木)午前9時～正午=高橋全域

春の新作

新・シリーズ(8)

文責／保健婦

（声：④）自分が食事を作るのだが、食べ物の好き嫌いが多いので、ついつい家族にも自分の好みのものを食べさせていたにしてはいた。因前から今年は完全に治すよう指導されたので、完治させたいと思う。

われても、一般にはあまり重大な病気ではない、というとえ方がされているのでしょうか。しかし、貧血はひとつの症状であり、恐ろしい病気が潜んでいることもあります。貧血検査を受けた人には、検診結果を連絡しました。ぜひ、もう一度結果をみて、生活改善や適切な治療を受けることをおすすめします。

名	満美光子穂子雄子栄子郎合彥子正美詠ふ也美
氏	浩一貴 貴幸梅孝和敏百康浩
島	江一し 静春
田	(佐藤)岡川(間辺)岸(島原)部(島)間(長津)原(小林)杉(間)
月	(佐藤)阿(岡)成(本)若(本)
本	(渡山)真(藤)松(若)
本	(佐藤)阿(岡)成(本)若(本)

(敬称略)	新住所	お / め / で / た / お / く / や / み	60年10月 20日まで
前住所	新住所	うふごえ	
西新潟市	西 中 2	氏名 誕生日月 保護者 住所	和 12 井 4
和燕	和 樹 曾	内山 夕貴 9・12 昭平	夏間 6
樺石	樺 曾 8	阿部 緑子 9・24 孝一	間和 5
北和	和 和 12	米山 美花 9・25 昭修	和和 3
和弥彦	和 和 12	中野 韶枝 9・26 武夫	和和 3
高潟	高 烟 7	相澤 文弥 9・29 廣義	横根
東村	高 烟 7	長谷川 純子 9・30 里人	曾根
烟根	高 烟 7	福田 歩 10・2 正勇	田中
横岩	高 岩 7	富澤 良 10・9 勇人	久保
曾室	高 岩 7		
町島	高 岩 7		
卷油	油 6		
黑崎町	油 6		
間和	間 6		

指摘された人に、早く貧血を治

■全受診者（342人の内訳）		
異常なし (131人— 38.3%)	要標準 (59人— 29.0%)	要医療 (112人— 32.7%)
■男性の受診者（27人の内訳）		
異常なし (13人— 48.1%)	要標準 (6人— 22.2%)	要医療 (9人— 33.3%)

■受診者の半数以上は貧血者
 ●男性にも貧血者がいました
 ●40歳以上の女性が特に貧血
 が多いようです。

貧血は恐い病氣の一 症狀

貧血説明会から

ひよつとしたら家族も貧血になつてゐるのでは、と不安です。

広報いわむろ / 昭和60年11月1日

11

消寒詩

質問箱

►番外編◀

相談は役場商工観光課
(☎824111・内線131)
か県消費生活センター
(☎0252⑤4196)へ。

昨年十一月からシリーズで掲載してきました「消費者質問箱」。先月号をもって最終回とさせていただきましたが、今号と次号の二回にわたって「消費者質問箱・番外編」として、警察庁でまとめた『はびこる悪徳商法被害者の手記』から実際には被害を受けられた方の手記をご紹介します。各機関のチラシや広報紙などで、悪質な訪問販売、通信販売などの被害防止の周知もされてきたようですが、まだまだお年寄りなどを中心に被害に泣かされている方が多いようです。少しでもこのような被害の防止に役立てば幸いです。

し、建ててから二十年も経つてますので、お願いしたのです。この男の人の合図で、同じような作業衣を着た職人風の人たちが五、六人、はしごなどの道具を持ってきて、次々と屋根に上がつて行き、「ガヤガヤ」ながら話しながら、作業をやっておりました。

私は、随分と便利になつたものだなと思い、感謝の気持ちでいっぱいになり、作業員のためにお茶の準備をしておりました。三十分くらいして、作業が終わつたらしく、さきほどの男の人が玄関のところに来まして、「奥さん、あっちこっち傷んでいたので、修理しておきました。しつくも塗りなおしたので、見違えるような屋根になりましたよ。おかげして二十万円ですと請求されたのです。

私は、なんの断りもなしに、勝手に修理をして膨大な修理代を請求するなんて非常識な人だ

と思つたのですが、屋根を見ますと、棟瓦は白く塗り替えられており、見違えるように立派になつたうえ、秋の台風が来ようと、どんな大雨でも保証しますと言いますので、まあ仕方ないときらめ、不時の出費のために用意しておいたお金を払つたのです。

秋の長雨が続きましたある日、屋根を見ますと、瓦に白い筋状の模様があり、きれいに修理されたはずの棟瓦は、褐色の粘土をあらわに出していますので、驚いて近所の大工さんに相談しましたら、専門の瓦屋さんを紹介され、その方に見てもらいましたところ、そのしつくいは粗悪品であり、もう一度完全な形で修理しないと雨漏りすると注意

味覚の秋の「代表選手」、さつまいも——先月21日、間瀬保育園児らが自然休養村事業の野菜掘りとりもぎとり園（間瀬）に全員集合。大きな手、小さな手が入り乱れて、さつまいもが次々と掘り起こされていく。「先生見て、見て、大きいよ」と土まみれになつて全員、いもと「大格闘」。歓声にわいていました。

季節は春でないのに「春」と呼ばれるケースがあります。「園もなくて暖かな小春日和」というときの「小春」がその一例です。高浜虚子の句に「落葉焚いて小春の日和定まりぬ」とあるように、俳句では冬の季語。「小春」は「小六月」と同じく旧暦十月のこと、太陽暦では晚秋から初冬にかけての十一月に当たります。

国木田独歩の小説「酒中日記」の一節に、五月の日記にもかかわらず、「小春日和の日曜」とて青山の通りは人出多く、大空は澄み渡り、風は砂を立てぬほどに吹き、人々行楽に忙しい時と書かれているのは、厳密に言えば正確ではないわけです。

また「小春」と同様に「竹の春」も春ではありません。竹は普通の植物とは正対に、地下で竹の子ができる春から夏にかけての時期に、親竹が衰えを見せず、しかし秋になると若竹が育ち、親竹も青々となるので「竹の春」。木々の紅葉する秋が、竹に限っては春というわけです。